

授業科目(ナンバリング)	ソーシャルワーク演習 (社会)Ⅱ (DC204)		担当教員		梅野 潤子・裴 孝承・山下 彦		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の 類 型
<p>本授業は、ディプロマポリシーに則りホスピタリティの精神を基盤とし、ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を視野に入れつつ、ソーシャルワーカーに求められるソーシャルワークに係る知識と技術の統合を行い、専門的援助支援技術として概念化し、理論化し体系立てていくことができる能力を習得する。また、支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解しながら、ソーシャルワークの対象課題と展開過程について理解する。</p>							④⑤⑥⑦⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	具体的なソーシャルワーク場面及びソーシャルワークの過程を想定した事例において、複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援について実践的に習得することができる。				課題レポート グループワーク	20% 10%	
情報収集、分析力	ソーシャルワーク事例における具体的な課題について、総合的かつ包括的なアセスメント及びプランニング、実行することができる。				小レポート グループ発表 グループワーク	20% 10% 10%	
コミュニケーション力	具体的なソーシャルワーク場面及びソーシャルワークの過程を想定した事例において、グループ間に意見交換をまとめることができる。				実技発表 グループ発表	20% 10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>課題レポート（20%）及びその実技発表（20%）では、学んだ専門的な援助技術を正しく理解し、応用できるかを評価する。文字数不足及び誤字、脱字は減点の対象とし、未提出の場合は単位認定を行わない。グループワーク（20%）では、基本的なコミュニケーション技術を活用しながら、有意義なディスカッションに貢献できたかを評価する。小レポート（20%）では、グループワークの成果を適切にまとめられるかを評価する。グループ発表（20%）では、グループワークの成果を適切にプレゼンテーションできるかを評価する。フィードバックはその都度、授業内で行う。</p> <p>なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等）は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>この授業では、担当教員がそれぞれ少人数クラスを受け持ち、15回の授業を展開する。事例を題材としグループワーク（ディスカッションとプレゼンテーションを含む）及び実技を通して、ソーシャルワークの対象課題と展開過程への理解を深める。具体的なソーシャルワーク場面及びソーシャルワークの過程を想定した実技指導により、分野横断的な総合的かつ包括的な支援技術の実技演習を行う。授業の案内や課題提示等はポートフォリオを活用する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：一般社団法人日本SW教育学校連盟編（2021）『7 ソーシャルワーク演習 [社会専門]』中央法規 参考書：NPO法人日本SW研究会（2023）『医療福祉総合ガイドブック 2023年度版』医学書院 指定図書：社団法人日本社会福祉士養成校協会監修（2015）『社会福祉士相談援助演習』中央法規</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>グループワークを実施するため、教科書の該当箇所及び事例を事前に読んでおくこと。 グループのメンバーを尊重し合いながら、積極的に発言すること、調べること、書くこと。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援①	授業の進め方、評価等の確認を行う。 メンタルヘルス上の課題を抱える人の支援における <u>コーディネーション</u> と <u>ソーシャルアクション</u> について学ぶ。	予習：教科書第3章第3節、134-170頁の事例を読む。 復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
2	具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援②	メンタルヘルス上の課題を抱える人の支援における <u>コーディネーション</u> と <u>ソーシャルアクション</u> について学ぶ。	予習：教科書第3章第3節、134-170頁の事例を読む。 復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
3	具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援③	児童虐待の防止と <u>チームアプローチ・ネットワーキング</u> について学ぶ。	予習：教科書教科書第3章第4節、171-210頁の事例を読む。 復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
4	具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援④	児童虐待の防止と <u>チームアプローチ・ネットワーキング</u> について学ぶ。	予習：教科書第3章第4節、171-210頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
5	具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援⑤	<u>ひきこもり事例</u> への支援と <u>アウトリーチ</u> について学ぶ。	予習：教科書第3章第1節、60-93頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
6	具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援⑥	<u>ひきこもり事例</u> への支援と <u>アウトリーチ</u> について学ぶ。	予習：教科書第3章第1節、60-93頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
7	具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援⑦	貧困問題を抱えた障害のある人の <u>地域定着支援</u> と <u>ネゴシエーション</u> について学ぶ。	予習：教科書第3章第2節、94-133頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
8	具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援⑧	貧困問題を抱えた障害のある人の <u>地域定着支援</u> と <u>ネゴシエーション</u> について学ぶ。	予習：教科書第3章第2節、94-133頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
9	具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援⑨	<u>高齢者虐待事例</u> への支援と <u>アウトリーチ</u> について学ぶ。	予習：配布資料の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
10	具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援⑩	<u>高齢者虐待事例</u> への支援と <u>アウトリーチ</u> について学ぶ。	予習：配布資料の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
11	具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援⑪	<u>災害時支援</u> と <u>コーディネーション</u> について学ぶ。	予習：教科書第3章第6節、242-284頁を読む。 復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
12	具体的な事例を活用した 複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援⑫	<u>災害時支援</u> と <u>コーディネーション</u> について学ぶ。	予習：教科書第3章第6節、242-284頁を読む。 復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
13	事例に基づく実技演習 : <u>プレゼンテーション</u> と <u>ファシリテーション</u> ①	指定の事例に対してグループ単位で課題レポートを作成する。	予習：第12回までの事例を振り返る。 復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
14	事例に基づく実技演習 : <u>プレゼンテーション</u> と <u>ファシリテーション</u> ②	指定の事例に対してグループ単位で作成した課題レポートに基づき、発表準備を行う。	予習：グループ課題に取り組む。 復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）
15	事例に基づく実技演習 : <u>プレゼンテーション</u> と <u>ファシリテーション</u> ③	指定の事例に対するグループ単位での実技発表及び評価を行う。	予習：実技発表の準備を行う。 復習：授業の振り返りレポート（manabaで翌週授業日0:00までに提出）、課題レポート